



2024年6月25日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について —2024年4～6月期実績、7～9月期予想—

横浜信用金庫（理事長 春日 隆）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

記

【業況判断D I】全業種総合業況判断D Iは悪化、来期も悪化する見込み

- 今期（2024年4～6月期）の全業種総合業況判断D Iは、前期比1.5ポイント上昇の6.7と改善した。来期（2024年4～6月期）は、今期比1.4ポイント上昇の8.1を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断D Iは、前期比0.8ポイント上昇の3.9となった。来期は、今期比0.5ポイント上昇の4.4を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断D Iは、前期比1.7ポイント上昇の8.0となった。来期は、今期比2.0ポイント上昇の10.0を見込んでいる。

【特別調査】中小企業における災害等への対応について

- ・どのような災害を意識しているかについて 地震（37.1%）
- ・災害への備えについて
 - 災害への備えに対する自己評価 どちらかというとできている（42.9%）
 - 災害にあった際に自社の備えに対する自己評価 どちらかというとできている（33.6%）
- ・事業継続にかかる保険の加入状況と加入しない理由 財産補償・休業補償の両方に加入（37.9%）
- ・建物の耐震対応と自社所在地周辺のハザードマップの確認状況について
 - 建物の耐震について どちらかというとできている（34.8%）
 - 自社所在地周辺のハザードマップの確認状況 確認し大きな問題はなかった（51.3%）
- ・災害時の対応について
 - 現預金の保有状況 売上の1～3か月分（41.5%）
 - 災害対策金融支援の利用状況 コロナ禍の時に受けたことがある（61.8%）

== お問い合わせ先：経営企画部 萩原・石川（電話：045-680-6912） ==



<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）677先 有効回答数：676先

調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和6年6月上旬

※その他詳細につきましては、「[«よこしん»HP](#)⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

以上